

授業概要（シラバス）

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	FL110	分類	演習科目
授業科目名	日本語講座Ⅰ	英文授業科目名	JapaneseⅡ
年度	2023年度	年次	屋間部 1年 <small>ホテル科・ブライダル科・英語専攻科</small>
開講学期	通年	授業の方法	講義・ペアワーク
単位数	1単位	年間授業時間数	28.8時間
科目区分	語学科目	授業コマ数	24コマ
担当教員名	篠貴絵	実務経験なし	
経歴			

■授業・科目情報

学習目標	日常生活を送る上で使用頻度が高い日本語を優先的に学び、場面に応じた言い回しやことばの使い分けができるようになる。 違和感を与えることなく自然なやり取りができるようになり、就職活動に向けた応用力を身に着ける。		
教科書	日本まるごと紹介事典		
授業計画	回数	内容	
	1	自己紹介。インターンシップに参加する(ロールカード)	
	2	「就活を考える」を読む。	
	3	面接を受ける。(ロールカード)Ⅰ	
	4	面接を受ける。(ロールカード)Ⅱ	
	5	報告書を書く。	
	6	電話対応Ⅰ(電話を取り次ぐ)	
	7	電話対応Ⅱ(伝言を受ける)	
	8	アポを取る。(ロールカード)	
	9	ご案内「あちらでございます。」	
	10	誘導「お部屋までご案内します」	
	11	復習	
	12	前期試験	
	13	私のキャリアプラン(インタビュー)	
	14	確認「どのようなお食事がよろしいでしょうか。」	
	15	一歩進んだ対応「もしよろしければ、確認いたしますでしょうか。」	
	16	要望に応える「只今ご用意いたしますので、少々お待ちくださいませ。」	
	17	迅速に応える「すぐに確認いたします。」	
	18	傾聴「何かございましたか。」	
	19	クレームを聴く「ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。」	
	20	代案「セミダブルのお部屋でしたらご用意できますが、いかがでしょうか。」	
	21	提案「そちらで体験できますが、いかがでしょうか。」	
	22	さまざまな謝罪「ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。」	
	23	復習	
	24	後期試験	
授業の進め方	日常生活に密着した実用的な語彙・表現を学び、それを使って様々なシチュエーションで、実践、応用をしていく。		
試験の実施方法	前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%(10ポイント) ②出席率＝50%(10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評定とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目			
参考書	日本まるごと紹介事典		
学生へのメッセージ	会話文やフレーズを単なる暗記ではなく、日本式の接客と日本文化を理解し、運用できるようになることを期待しています。		

以上